

学校コード F139110110504

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前相談

注2

高知大学

大学院総合人間自然科
学研究科

教職実践高度化専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人高知大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人企画課

職名・氏名

電話番号

（夜間）

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

大学院総合人間自然科学研究科

＜教職実践高度化専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名 高知大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当無し		
学長	(サクライ カツシ) 櫻井 克年 (平成30年4月)		
研究科長	(イワサキ コウゾウ) 岩崎 貢三 (令和2年4月)		
専攻長	(ナカノ トシユキ) 中野 俊幸 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合人間自然科学 研究科教職実践 高度化専攻 教職修士 (専門職)	教育学・保育 学関係	2 年	15 人	年次 人	30 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	15 (-) [-]	0.93倍	倍
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	14 (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	14 (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	14 (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	14 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A											0.93		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	14 [-] (-)	0 [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	人	人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	14人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	開かれた教育課程の開発と実践 ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	1後	2				2					
		1前	2			1	1					
	アクティブラーニングの理論と実践 ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	1前	2			2	1					
		2前	2			2	4					
	変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践	1前	2			1	1	1				
		2前	2			2		2				
	学校組織マネジメントの理論と実践 学級経営の理論と実践	1前	2			1	1					1
		1後	2			1	2					
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー	1後	2			2	1					1
		1前	2			1	1	1				
小計(10科目)		-	20			9	11	3				1
専門科目	学校管理職の役割と実践 学校組織開発の理論と実践	1前		2		1						1
		1前		2								1
	保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント	1後		2		1	2					1
		1後		2		1	1					1
	学校組織開発のための学校評価 学級経営の開発的実践	1後		2								1
		1前		2			1					
	組織的な生徒指導と人権教育 高知県の地域教育リソース開発	2前		2		2						
		2前		2			2	1				1
	学校組織開発演習	2後		2								1
	小計(10科目)		-	18		3	5	1				2

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	開かれた教育課程の開発と実践 ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	1後	2				1					1
		1前	2			1	1					
	アクティブラーニングの理論と実践 ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	1前	2			2	1					
		2前	2			3	2					1
	変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践	1前	2			1	2					
		2前	2			2	1	1				
	学校組織マネジメントの理論と実践 学級経営の理論と実践	1前	2			1	1					1
		1後	2			1	2					
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー	1後	2				3					1
		1前	2			1	1	1				
小計(10科目)		-	20			11	8	2				3
専門科目	学校管理職の役割と実践 学校組織開発の理論と実践	1前		2		1						1
		1前		2								1
	保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント	1後		2		2						1
		1後		2		1						1
	学校組織開発のための学校評価 学級経営の開発的実践	1後		2								1
		1前		2			1					
	組織的な生徒指導と人権教育 高知県の地域教育リソース開発	2前		2		2						
		2前		2			2	1				1
	学校組織開発演習	2後		2								1
	小計(10科目)		-	18		4	3	1				3

授業実践コース	道徳教育の理論と実践	1前	2	1																
	就学前からの発達と教育実践	1後	2	1	1	1														
	教育評価から捉える子どもの心理と理解	1前	2	1	2	1														
	授業におけるICT活用の開発的実践	1前	2	3	3															
	高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発	2前	2		1															
	理科学習指導法の理論と実践	1前	2		2															
	理科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		2															
	理科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		2															
	理科授業分析・改善演習	2後	2		2															
	英語科学習指導法の理論と実践	1前	2		1	1														
	英語科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		1	1														
	英語科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		1	1														
	英語科授業分析・改善演習	2後	2		1	1														
	算数・数学科の学習指導の理論と実践	1前	2		1	1	1													
	算数・数学科の教材研究の理論と実践	1後	2		1															
	算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践	2前	2		1	2	1													
	算数・数学科の授業研究と授業改善演習	2後	2		1	2	1													
	国語科学習指導法の理論と実践	1前	2		2	1														
	国語科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		2	1														
	国語科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		2	1														
国語科授業分析・改善演習	2後	2		2	1															
社会科学習指導法の理論と実践	1前	2		1	1															
社会科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		1	1															
社会科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		1	1															
社会科授業分析・改善演習	2後	2		1	1															
小計(10科目)	—		50	7	10	3														

授業実践コース	道徳教育の理論と実践	1前	2		1															
	就学前からの発達と教育実践	1後	2		2															
	教育評価から捉える子どもの心理と理解	1前	2		1	3														
	授業におけるICT活用の開発的実践	1前	2		3	2														
	高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発	2前	2			1														
	理科学習指導法の理論と実践	1前	2		1	1														
	理科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		1	1														
	理科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		1	1														
	理科授業分析・改善演習	2後	2		1	1														
	英語科学習指導法の理論と実践(未開講)	1前	2		1	1														
	英語科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		1	1														
	英語科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		1	1														
	英語科授業分析・改善演習	2後	2		1	1														
	算数・数学科の学習指導の理論と実践	1前	2		1		1													
	算数・数学科の教材研究の理論と実践	1後	2			1														
	算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践	2前	2		1	1	1													
	算数・数学科の授業研究と授業改善演習	2後	2		1	1	1													
	国語科学習指導法の理論と実践	1前	2		2	1														
	国語科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		2	1														
	国語科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		2	1														
国語科授業分析・改善演習	2後	2		2	1															
社会科学習指導法の理論と実践(未開講)	1前	2		1	1															
社会科教材研究・開発の理論と実践	1後	2		1	1															
社会科教育マネジメントの理論と実践	2前	2		1	1															
社会科授業分析・改善演習	2後	2		1	1															
小計(10科目)	—		50	8	8	3														

修了要件及び履修方法
<p>【修了要件】</p> <p>共通科目20単位以上、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目について、5つの領域から各4単位以上の計20単位を修得すること。 ・専門科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)に関する科目8単位を修得すること。 ・総合実践力科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)に関する科目8単位を修得すること。 ・実習科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)・対象(学部卒/現職教員)に関する実習Ⅰ・Ⅱの計10単位を修得すること。 <p>履修登録上限単位数 22単位(1学期あたり)</p>

修了要件及び履修方法
<p>【修了要件】</p> <p>共通科目20単位以上、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目について、5つの領域から各4単位以上の計20単位を修得すること。 ・専門科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)に関する科目8単位を修得すること。 ・総合実践力科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)に関する科目8単位を修得すること。 ・実習科目について、所属するコース(学校マネジメントコース/授業実践コース/特別支援教育コース)・対象(学部卒/現職教員)に関する実習Ⅰ・Ⅱの計10単位を修得すること。 <p>履修登録上限単位数 22単位(1学期あたり)</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 石嶺ちづる(専・准教授)の他大学への転出に伴い、17科目について、下記の通り教員配置を見直した。なお、同教員の後任の専任教員については、現在採用手続き中(専・講師)であり、年度内に採用予定である。 「開かれた教育課程の開発と実践」、「保幼小中高の連携によるキャリア発達」、「学校に求められるリスクマネジメント」の3科目については、本年度は転出した同教員が兼任講師として担当することから、准教授を1減じ、兼任・兼任教員に1加えている。 「総合実践力科目」6科目及び「実習科目」8科目については、同教員は担当せず、本年度は他の専任教員が担当するとともに、後任の専任教員が着任後は後任の専任教員が担当する。そのため、准教授を1減じ、後任の専任教員の想定している職位である講師に1を加えている。 ・ 服部裕一郎(専・准教授)の他大学への転出に伴い、19科目について、下記の通り教員配置を見直した。なお、同教員の後任の専任教員については、現在採用手続き中(専・講師)であり、年度内に採用予定である。 「ICTを活用したデジタル教育の理論と実践」、「授業におけるICT活用の開発的実践」、「算数・数学科の学習指導の理論と実践」、「算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践」、「算数・数学科の授業研究と授業改善演習」の5科目については、本年度は転出した同教員が兼任講師として担当することから、准教授を1減じ、兼任・兼任教員に1加えている。 「総合実践力科目」6科目及び「実習科目」8科目については、同教員は担当せず、本年度は他の専任教員が担当するとともに、後任の専任教員が着任後は後任の専任教員が担当する。そのため、准教授を1減じ、後任の専任教員の想定している職位である講師に1を加えている。 ・ 川俣美砂子(専・准教授)の昇任に伴い、担当の17科目について、准教授を1減じ、教授に1を加えている。 ・ 中城満(専・准教授)の昇任に伴い、担当の19科目について、准教授を1減じ、教授に1を加えている。 ・ 福住紀明(専・講師)の昇任に伴い、担当の19科目について、講師を1減じ、准教授に1を加えている。
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	64 科目	0 科目	74 科目	10 科目 [0]	64 科目 [0]	0 科目 [0]	74 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{74} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡				
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡				
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡				
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡				
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	130,560㎡ (130,560㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,560㎡ (130,560㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	9室	14室	21室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻			26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数 教育の充実のため、機械・器具増 (4)		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種					電子ジャーナル	
	大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻	714,595 [188,025] (714,595 [188,025])	34,057 [19,512] (34,057 [19,512])	10,913 [10,913] (10,913 [10,913])	2,467 (2,467)	4672 4448 (4,672) (-4,448)		0 (0)	
	計	714,595 [188,025] (714,595 [188,025])	34,057 [19,512] (34,057 [19,512])	10,913 [10,913] (10,913 [10,913])	2,467 (2,467)	4672 4448 (4,672) (-4,448)		0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,557㎡		988		793,833				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,794㎡		柔・剣道場, 弓道場, テニスコート, プール等を有している						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学					平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員						
人文社会科学部			3年次			1.03	1.02	—			
人文社会科学科	4	275	10	1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.03	1.02	—	平成28年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文学部										高知県高知市曙町二丁目5番1号	平成28年度から学生募集停止(人文学部)
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成16年度		
国際社会コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—	—	—	平成16年度		
教育学部						1.04	1.07			高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04	1.07	—	平成16年度		
理工学部			3年次			1.03	1.05			高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	2	224	学士(理学)	1.02	1.03	—	平成29年度		
情報科学科	4	30	2	124	学士(理工学)	1.05	1.13	—	平成29年度		
生物科学科	4	45	2	184	学士(理学)	1.04	1.02	—	平成29年度		
化学生命理工学科	4	70	2	284	学士(理工学)	1.03	1.07	—	平成29年度		
地球環境防災学科	4	40	2	164	学士(理工学)	1.03	1.00	—	平成29年度		
理学部										高知県高知市曙町二丁目5番1号	平成29年度から学生募集停止(理学部)
理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成19年度		
応用理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成19年度		
医学部			2年次			1.00	1.00			高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	5	685	学士(医学)	1.00	1.00	令和3年度	平成16年度		
看護学科	4	60	10	260	学士(看護学)	1.00	1.01	—	平成16年度		
農林海洋科学部						1.03	1.03			高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科	4	90	—	360	学士(農学)	1.02	1.05	—	平成28年度		
農芸化学科	4	45	—	180	学士(農学)	1.01	0.97	—	平成28年度		
海洋資源科学科	4	65	—	260	学士(海洋科学)	1.04	1.04	—	平成28年度		
農学部										高知県南国市物部乙200	平成29年度から学生募集停止(農学部)
農学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	—	—	平成19年度		
地域協働学部						1.04	1.00			高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士(地域協働学)	1.04	1.00	—	平成27年度		

大学の名称	高知大学大学院						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
総合人間自然科学研究科											
人文社会科学専攻(修士課程)	2	8	—	16	修士(文学)	0.81	0.87	—	平成20年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(学術) 修士(経済学) 修士(教育学)	—	—	—	平成20年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	令和4年度から学生募集停止(教育学専攻)
理工学専攻(修士課程)	2	55	—	110	修士(理学) 修士(理工学)	1.12	1.20	—	令和2年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成20年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	令和2年度から学生募集停止(理学専攻)
医科学専攻(修士課程)	2	15	—	30	修士(医科学)	1.03	1.13	—	平成20年度	高知県南国市岡豊町小蓮	
看護学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(公衆衛生学) 修士(看護学)	0.79	1.00	—	平成20年度	高知県南国市岡豊町小蓮	
農林海洋科学専攻(修士課程)	2	55	—	110	修士(農学) 修士(海洋科学)	0.93	1.00	—	令和2年度	高知県南国市物部乙200	
農学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成20年度	高知県南国市物部乙200	令和2年度から学生募集停止(農学専攻)
地域協働学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(地域協働学)	0.66	0.66	—	令和2年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教職実践高度化専攻(専門職学位課程)	2	15	—	30	教職修士(専門職)	0.93	0.93	—	令和4年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教職実践高度化専攻(専門職学位課程)	2	—	—	—	教職修士(専門職)	—	—	—	平成30年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	令和4年度から学生募集停止(教職実践高度化専攻)
応用自然科学専攻(博士課程)	3	6	—	18	博士(理学) 博士(理工学)	1.16	1.16	—	令和4年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
応用自然科学専攻(博士課程)	3	—	—	—	博士(理学) 博士(学術)	—	—	—	平成20年度	高知県高知市曙町二丁目5番1号	令和4年度から学生募集停止(応用自然科学専攻)
医学専攻(博士課程)	4	30	—	120	博士(医学)	0.73	0.80	—	平成20年度	高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻(博士課程)	3	6	—	18	博士(学術)	0.33	0.16	—	平成20年度	高知県南国市物部乙200	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	古口 高志 <令和4年4月> ※修士(障害科学)	専	教授	古口 高志 <令和4年4月> ※修士(障害科学)
		教育相談の理論と実践 就学前からの発達と教育実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			教育相談の理論と実践 就学前からの発達と教育実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	是永 かな子 <令和4年4月> 博士(教育学)	専	教授	是永 かな子 <令和4年4月> 博士(教育学)
		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践 特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築 肢体不自由評価の基礎と実際 病弱評価の基礎と実際 高知県の特別支援教育の実態把握と分析 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)			ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践 特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築 肢体不自由評価の基礎と実際 病弱評価の基礎と実際 高知県の特別支援教育の実態把握と分析 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
専	教授	中野 俊幸 <令和4年4月> 教育学修士	専	教授	中野 俊幸 <令和4年4月> 教育学修士
		アクティブラーニングの理論と実践 ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			アクティブラーニングの理論と実践 ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	野村 幸代 <令和4年4月> 博士(教育学)	専	教授	野村 幸代 <令和4年4月> 博士(教育学)
		アクティブラーニングの理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 英語科学習指導法の理論と実践 英語科教材研究・開発の理論と実践 英語科教育マネジメントの理論と実践 英語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			アクティブラーニングの理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 英語科学習指導法の理論と実践 英語科教材研究・開発の理論と実践 英語科教育マネジメントの理論と実践 英語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専	教授	松本 秀彦 <令和4年4月> ※修士(教育学)	専	教授	松本 秀彦 <令和4年4月> ※修士(教育学)
		高知県の学校教育をめぐる現代的課題 限局性学習症評価の基礎と実際 限局性学習症指導の理論と実践 注意欠如多動症評価の基礎と実際 注意欠如多動症指導の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)			高知県の学校教育をめぐる現代的課題 限局性学習症評価の基礎と実際 限局性学習症指導の理論と実践 注意欠如多動症評価の基礎と実際 注意欠如多動症指導の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	柳林 信彦 <令和4年4月> ※修士(教育学)	専	教授	柳林 信彦 <令和4年4月> ※修士(教育学)
		学校組織マネジメントの理論と実践 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 学校管理職の役割と実践 学校に求められるリスクマネジメント 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			学校組織マネジメントの理論と実践 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 学校管理職の役割と実践 学校に求められるリスクマネジメント 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専	准教授	柴 英里 <令和4年4月> 博士(教育学)	専	准教授	柴 英里 <令和4年4月> 博士(教育学)
		学級経営の理論と実践 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 学級経営の開発的実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			学級経営の理論と実践 教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 学級経営の開発的実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	古市 直樹 <令和4年4月> ※修士(教育学)	専	准教授	古市 直樹 <令和4年4月> ※修士(教育学)
		アクティブラーニングの理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発 社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と実践 社会科教育マネジメントの理論と実践 社会科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			アクティブラーニングの理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発 社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と実践 社会科教育マネジメントの理論と実践 社会科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専他	教授	岩城 裕之 <令和4年4月> 博士(文学)	専他	教授	岩城 裕之 <令和4年4月> 博士(文学)
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	教授	藤田 詠司 <令和4年4月> 教育学修士	専他	教授	藤田 詠司 <令和4年4月> 教育学修士
		社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と実践 社会科教育マネジメントの理論と実践 社会科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と実践 社会科教育マネジメントの理論と実践 社会科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専他	准教授	石嶺 ちづる <令和4年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	石嶺 ちづる <令和4年4月> 博士(教育学)
		開かれた教育課程の開発と実践 保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			開かれた教育課程の開発と実践 保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	加納 理成 <令和4年4月> 博士(理学)	専他	准教授	加納 理成 <令和4年4月> 博士(理学)
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の教材研究の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の教材研究の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専他	准教授	川俣 美砂子 <令和4年4月> 博士(学術)	専他	教授	川俣 美砂子 <令和4年4月> 博士(学術)
		高知県の学校教育をめぐる現代的課題 保幼小中高の連携によるキャリア発達 就学前からの発達と教育実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			高知県の学校教育をめぐる現代的課題 保幼小中高の連携によるキャリア発達 就学前からの発達と教育実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	中城 満 <令和4年4月> 博士(学術)	専他	教授	中城 満 <令和4年4月> 博士(学術)
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 理科学習指導法の理論と実践 理科教材研究・開発の理論と実践 理科教育マネジメントの理論と実践 理科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 理科学習指導法の理論と実践 理科教材研究・開発の理論と実践 理科教育マネジメントの理論と実践 理科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専他	准教授	野中 陽一郎 <令和4年4月> 博士(教育学)	専他	准教授	野中 陽一郎 <令和4年4月> 博士(教育学)
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 学級経営の理論と実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 学級経営の理論と実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	准教授	服部 裕一郎 <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	服部 裕一郎 <令和4年4月> 修士(教育学)
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習
専他	准教授	横山 卓 <令和4年4月> ※修士(教育学)	専他	准教授	横山 卓 <令和4年4月> ※修士(教育学)
		変動する社会と生徒指導の理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			変動する社会と生徒指導の理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	講師	袴田 綾斗 <令和4年4月> 修士(学術)	専他	講師	袴田 綾斗 <令和4年4月> 修士(学術)
		教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
専他	講師	福住 紀明 <令和4年4月> 博士(情報学)	専他	准教授	福住 紀明 <令和4年4月> 博士(情報学)
		変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践 教育評価から捉える子どもの心理と理解 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専他	講師	三ツ石 行宏 <令和4年4月> 修士(社会福祉学)	専他	講師	三ツ石 行宏 <令和4年4月> 修士(社会福祉学)
		教育相談の理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 就学前からの発達と教育実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			教育相談の理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 就学前からの発達と教育実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
			専他	講師	石嶺ちづるの 後任採用手続き中
					開かれた教育課程の開発と実践 保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					<p style="text-align: center;">服部裕一郎 後任採用手続き中</p> <p>ICTを活用したデジタル教育の理論と実践 授業におけるICT活用の開発的実践 算数・数学科の学習指導の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)</p>
			専他	講師	
実専	教授	岡田 倫代 <令和4年4月> 博士(医学)	実専	教授	岡田 倫代 <令和4年4月> 博士(医学)
		変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践 学級経営の理論と実践 保幼小中高の連携によるキャリア発達 組織的な生徒指導と人権教育 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			変動する社会と生徒指導の理論と実践 教育相談の理論と実践 学級経営の理論と実践 保幼小中高の連携によるキャリア発達 組織的な生徒指導と人権教育 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専	教授	森 有希 <令和4年4月> 修士(教育学)	実専	教授	森 有希 <令和4年4月> 修士(教育学)
		高知県の学校教育をめぐる現代的課題 道徳教育の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			高知県の学校教育をめぐる現代的課題 道徳教育の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
実専	准教授	小田 通 <令和4年4月> 教育学士	実専	准教授	小田 通 <令和4年4月> 教育学士
		開かれた教育課程の開発と実践 理科学習指導法の理論と実践 理科教材研究・開発の理論と実践 理科教育マネジメントの理論と実践 理科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			開かれた教育課程の開発と実践 理科学習指導法の理論と実践 理科教材研究・開発の理論と実践 理科教育マネジメントの理論と実践 理科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専	准教授	橋本 典子 <令和4年4月> 教育学士	実専	准教授	橋本 典子 <令和4年4月> 教育学士
		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践 学校組織マネジメントの理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 肢体不自由評価の基礎と実際 高知県の特別支援教育の実態把握と分析 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)			ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践 学校組織マネジメントの理論と実践 高知県の地域教育リソース開発 肢体不自由評価の基礎と実際 高知県の特別支援教育の実態把握と分析 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
実専み	教授	大西 雅人 <令和4年4月> 修士(教育学)	実専み	教授	大西 雅人 <令和4年4月> 修士(教育学)
		組織的な生徒指導と人権教育 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			組織的な生徒指導と人権教育 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
実専み	教授	田中 元康 <令和4年4月> 修士(教育学)	実専み	教授	田中 元康 <令和4年4月> 修士(教育学)
		国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
実専み	准教授	瀬戸 保彦 <令和4年4月> 教育学士	実専み	准教授	瀬戸 保彦 <令和4年4月> 教育学士
		国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			国語科学習指導法の理論と実践 国語科教材研究・開発の理論と実践 国語科教育マネジメントの理論と実践 国語科授業分析・改善演習 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専み	准教授	竹崎 優子 <令和4年4月> 英文学士 英語科学習指導法の理論と実践 英語科教材研究・開発の理論と実践 英語科教育マネジメントの理論と実践 英語科授業分析・改善演習 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
		宇川 浩之 <令和4年4月> 学士(教育学) 知的障害指導の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
		小川 裕代 <令和4年4月> 教職修士(専門職) 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
		赤松 直 <令和4年4月> 理学博士 理科教材研究・開発の理論と実践
		伊谷 行 <令和4年4月> 博士(理学) 理科教材研究・開発の理論と実践

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専み	准教授	竹崎 優子 <令和4年4月> 英文学士 英語科学習指導法の理論と実践 英語科教材研究・開発の理論と実践 英語科教育マネジメントの理論と実践 英語科授業分析・改善演習 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)
		宇川 浩之 <令和4年4月> 学士(教育学) 知的障害指導の理論と実践 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
		小川 裕代 <令和4年4月> 教職修士(専門職) 教育実践研究Ⅰ(特別支援教育) 教育実践研究Ⅱ(特別支援教育) 総合実践研究(特別支援教育) 特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用) 特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用) 特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)
		赤松 直 <令和4年4月> 理学博士 理科教材研究・開発の理論と実践
		伊谷 行 <令和4年4月> 博士(理学) 理科教材研究・開発の理論と実践

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	佐藤 淳郎 <令和4年4月> 博士(理学)	兼担	教授	佐藤 淳郎 <令和4年4月> 博士(理学)
		算数・数学科の教材研究の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習			算数・数学科の教材研究の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習
兼担	教授	長岡 幹泰 <令和4年4月> 修士(教育学)			
		学校組織マネジメントの理論と実践 高知県の学校教育をめぐる現代的課題 学校管理職の役割と実践 高知県の地域教育リソース開発 高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)			
兼担	教授	原田 哲夫 <令和4年4月> 博士(理学)	兼担	教授	原田 哲夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		理科教材研究・開発の理論と実践			理科教材研究・開発の理論と実践

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					<p style="text-align: center;">藤中 雄輔</p> <p style="text-align: center;"><令和4年4月> 理学修士</p> <p>学校組織マネジメントの理論と実践 高知県の学校教育をめぐる現代的課題 学校管理職の役割と実践 高知県の地域教育リソース開発 高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発 教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント) 総合実践研究(学校マネジメント) 教育実践研究Ⅰ(授業実践) 教育実践研究Ⅱ(授業実践) 総合実践研究(授業実践) 学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用) 学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員卒用) 学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員卒用) 授業実践実習Ⅰ(学部卒用) 授業実践実習Ⅱ(学部卒用) 授業実践実習Ⅰ(現職教員用) 授業実践実習Ⅱ(現職教員用)</p>
			兼任	教授	<p style="text-align: center;">山口 俊博</p> <p style="text-align: center;"><令和4年4月> 博士(理学)</p> <p>算数・数学科の教材研究の理論と実践 算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践 算数・数学科の授業研究と授業改善演習</p>
			兼任	准教授	<p style="text-align: center;">草場 実</p> <p style="text-align: center;"><令和4年4月> 博士(教育学)</p> <p>理科学習指導法の理論と実践</p>
			兼任	准教授	<p style="text-align: center;">西脇 芳典</p> <p style="text-align: center;"><令和4年4月> 博士(理学)</p> <p>理科教材研究・開発の理論と実践</p>
			兼任	講師	<p style="text-align: center;">木岡 一明</p> <p style="text-align: center;"><令和4年4月> ※教育学修士</p> <p>学校組織開発の理論と実践 学校組織開発のための学校評価 学校組織開発演習</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	武田 敏宏 <令和4年4月> 社会学士	兼任	講師	武田 敏宏 <令和4年4月> 社会学士
		社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と 実践 社会科教育マネジメントの理論 と実践 社会科授業分析・改善演習			社会科学習指導法の理論と実践 社会科教材研究・開発の理論と 実践 社会科教育マネジメントの理論 と実践 社会科授業分析・改善演習
兼任	講師	本淨 謹士 <令和4年4月> 学士(医学)	兼任	講師	本淨 謹士 <令和4年4月> 学士(医学)
		病弱評価の基礎と実際			病弱評価の基礎と実際

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<p>・石嶺ちづる（専・准教授）の他大学への転出（令和4年3月）に伴い、同教員を兼任教員に変更。 「開かれた教育課程の開発と実践」、「保幼小中高の連携によるキャリア発達」、「学校に求められるリスクマネジメント」の3科目を引き続き担当する。 同教員の担当科目17科目を担当可能な、後任の専任教員（専・講師）の採用手続きを開始した。年度内に採用予定。</p> <p>・服部裕一郎（専・准教授）の他大学への転出（令和4年3月）に伴い、同教員を兼任教員に変更。 「ICTを活用したデジタル教育の理論と実践」、「授業におけるICT活用の開発的実践」、「算数・数学科の学習指導の理論と実践」、「算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践」、「算数・数学科の授業研究と授業改善演習」の5科目を引き続き担当する。 同教員の担当科目19科目を担当可能な、後任の専任教員（専・講師）の採用手続きを開始した。年度内に採用予定。</p> <p>・川俣美砂子（専・准教授）を教授に昇任させた。</p> <p>・中城満（専・准教授）を教授に昇任させた。</p> <p>・福住紀明（専・講師）を准教授に昇任させた。</p> <p>・長岡幹泰（兼担・教授）の退職に伴い、同教員担当の19科目については、後任である藤中雄輔（兼担・教授）が担当する（令和4年度4月1日付採用）。</p>
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
24 名	12 名	10 名

(注)・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況									
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）				
12	13	5	0	30	0	14	10	4	0	28	0				
(12)	(13)	(5)	(0)	(30)	(0)										
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
20		10		6		0		18		10		6		0	
(20)		(10)		(6)		(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画									
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）				
14	10	6	0	30	0	14	10	6	0	30	0				
[2]	[Δ3]	[1]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ3]	[1]	[0]	[0]	[0]				
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
20		10		6		0		20		10		6		0	
[0]		[0]		[0]		[0]		[0]		[0]		[0]		[0]	

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既設で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{30}{30} = \boxed{100} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	石嶺 ちづる	R4.3	必修	開かれた教育課程の開発と実践	②	R4.3愛知教育大学に転出のため就任辞退（4）		
				選択	保幼小中高の連携によるキャリア発達	②			
				選択	学校に求められるリスクマネジメント	②			
				選択	教育実践研究Ⅰ（学校マネジメント）	①			
				選択	教育実践研究Ⅱ（学校マネジメント）	①			
				選択	総合実践研究（学校マネジメント）	①			
				選択	教育実践研究Ⅰ（授業実践）	①			
				選択	教育実践研究Ⅱ（授業実践）	①			
				選択	総合実践研究（授業実践）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅰ（学部卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅱ（学部卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅰ（現職教員卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅱ（現職教員卒用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅰ（学部卒用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅱ（学部卒用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅰ（現職教員用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅱ（現職教員用）	①			
2	准教授	服部 裕一郎	R4.3	必修	ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	②	R4.3岡山大学に転出のため就任辞退（4）		
				選択	授業におけるICT活用の開発的実践	②			
				選択	算数・数学科の学習指導の理論と実践	②			
				選択	算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践	②			
				選択	算数・数学科の授業研究と授業改善演習	②			
				選択	教育実践研究Ⅰ（学校マネジメント）	①			
				選択	教育実践研究Ⅱ（学校マネジメント）	①			
				選択	総合実践研究（学校マネジメント）	①			
				選択	教育実践研究Ⅰ（授業実践）	①			
				選択	教育実践研究Ⅱ（授業実践）	①			
				選択	総合実践研究（授業実践）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅰ（学部卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅱ（学部卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅰ（現職教員卒用）	①			
				選択	学校マネジメント実習Ⅱ（現職教員卒用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅰ（学部卒用）	①			
				選択	授業実践実習Ⅱ（学部卒用）	①			
選択	授業実践実習Ⅰ（現職教員用）	①							
選択	授業実践実習Ⅱ（現職教員用）	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	34 科目	選択	28 科目	選択	6 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	36 科目	計	28 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
		選択	34	科目	選択	28	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	36	科目	計	28	科目	計	8	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{30} = \boxed{6.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

石嶺ちづる(専・准教授)、服部裕一郎(専・准教授)の転出(令和4年3月)に伴い、教員配置の見直しが必要となった。石嶺ちづる担当の「開かれた教育課程の開発と実践」、「保幼小中高の連携によるキャリア発達」、「学校に求められるリスクマネジメント」3科目については、同教員が兼任教員として引き続き担当する。服部裕一郎担当の「ICTを活用したデジタル教育の理論と実践」、「授業におけるICT活用の開発的実践」、「算数・数学科の学習指導の理論と実践」、「算数・数学科の教材開発と授業デザインの理論と実践」、「算数・数学科の授業研究と授業改善演習」5科目については、同教員が兼任教員として引き続き担当する。以上のことから、教員の質の低下は生じないと考えられる。

両教員が担当する「総合実践力科目」6科目及び「実習科目」8科目については、本年度は他の専任教員が担当するとともに、両教員の後任の専任教員の採用手続きを開始しており、年度内に着任予定である。着任後は、後任の専任教員が当該14科目を担当する。以上のことから、教員の質の低下は生じないと考えられる。

このような、転出に伴う教員配置の変更等について、学生に対しては、教員交代等に関する情報を年度首のガイダンスで説明を行ったほか、履修案内・教務情報システム等においても周知している。また、担当者変更後の科目内容等についても、シラバス等により周知を行っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当無し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当無し</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 設置準備段階（令和4年3月31日まで）：教職大学院設置準備委員会 教職実践高度化専攻専攻会議</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 教職実践高度化専攻専攻会議／月1回開催（8月を除く）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成に関する事項 ・学生の身分に関する事項 ・専攻内の教育に関する予算・施設・設備に関する事項 ・教員配置の要請に関する事項 ・その他専攻の組織及び教育に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻指導方針、組織体制に関する共通理解・協議 ・授業内容・方法・指導体制についての共通理解・協議・オリエンテーション ・実習指導体制・指導内容に関する共通理解・オリエンテーション ・教育実践研究の基礎的事項に関する共通理解 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改組のための説明会の実施 ・専攻会議において実施 ・院生に対するオリエンテーションに専任教員も参加 ・教職キャリア形成支援ガイダンスに教員も参加 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年 4月 2日 専攻オリエンテーション（16人中12人参加）</p> <p>令和3年 4月16日 専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）</p> <p>令和3年 5月14日 専攻会議（専任教員参加状況16人中14名参加）</p>

令和3年5月21日	実習オリエンテーション（16人中5人参加）
令和3年 6月11日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和3年 7月 9日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和3年 9月10日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和3年10月 8日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和3年11月12日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和3年11月24日	教職実践高度化専攻「令和4年度開設授業科目の担当や教育方法等についての説明会」 （16人中10名参加）
令和3年12月 1日	教職キャリア形成支援ガイダンス（16人中6人参加）
令和3年12月10日	専攻会議（専任教員参加状況16人中14名参加）
令和4年 1月14日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和4年 2月18日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）
令和4年 3月11日	専攻会議（専任教員参加状況16人中15名参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・院生への指導や修了までの到達度などに関して共通理解を図り、指導に反映
- ・実習の指導及び総合実践力科目群の指導体制、指導内容について共通理解を図り、指導に反映
- ・合同ゼミ「土佐の皿鉢ゼミ」の企画に反映

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各授業の5週目、15週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

5週目アンケートについては、専攻長・学務委員会等で精査したうえで、担当教員にフィードバックする。

担当教員は、改善案を立案して受講生等に提示し、その後の授業を展開することで授業の高度化につなげるなどの活用を行っている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

大学7名、高知県教育委員会7名で構成する教職大学院連携協議会を設置している

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

年2回開催（令和3年5月18日・令和4年3月18日～25日（メール会議）に開催）

c 委員会の審議事項等

専攻の目的及び組織体制、院生指導体制、実習実施計画、高知県と連携した研修・事業、
教職大学院の拡充に係る要望等、教職実践高度化専攻の改組・拡充
土佐の血跡ゼミ、4年度入試、実習委員会報告、附属学校教育研究センター事業報告、
現職派遣院生の研究成果、令和4年度の改組

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

高知大学教職大学院の拡充に係る要望等について
高知大学教職大学院実習協議会要項の制定について

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

高知県教育委員会からの要望に基づき教育課程の見直しを進める。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

高知県教育委員会からの要望に基づき教育課程へ反映させる。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年11月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・機関別認証評価については、令和3年に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審。

次回は、令和10年度までに受審予定。

・分野別認証評価については、本年度に評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。